

ネット書き込みの恐ろしさ

～インターネットトラブル事例集より～



コロナ禍における現代において、SNSによるコミュニケーションが急速に進む中、思春期を迎え様々な悩みを抱える子どもたちは、ネットの向こう側に救いを求める傾向にあるのではないのでしょうか。子どもたちが犯罪に巻き込まれないよう、大人と相談できる関係を保つことが最善の予防策です。

ネットで出会った相談相手に会いに行き



※ DMは「ダイレクトメッセージ」。複数の人たちとやり取りする画面を介さず、個人と直接やり取りできるメッセージのこと。

辛いことが続き、SNSにつぶやいていたWさん。気持ちが落ち着くメッセージをくれる人に出会い、DMでやり取りするうちに、会いに行くことになりました。

そのまま連絡がつかなくなってしまった



出かけたきり家に帰ってこなくなり、家族が警察に相談。誰にも言わずに会いに行ったことは、WさんのSNSの記録を確認して初めてわかったのです。

★解説 成長過程で生じる不安定な感情につけこまれる危険

○思春期の不安定な心理状態

リアルな生活で受けたストレスをネットにぶつけることで自分の気持ちをコントロールしようとする子もいます
子どもの言葉に耳を傾け、気持ちに寄り添いましょう

○話し合いや相談ができる関係づくり

ネットで知り合った人に深入りしないよう、「ここまで！」の限界を話し合い、意識してSNSを使うことが危険回避の第一歩です



<参考> ・総務省「インターネットトラブル事例集（2020年度版）」
https://www.soumu.go.jp/main_content/000681954.pdf